

学校経営方針

1 教育目標

- 進んで勉強しよう
(主体的学習する生徒)
- 思いやりのある人になろう
(思いやりのある生徒)
- 進んで心身をきたえよう
(共に心身をきたえる生徒)

2 目指す学校像

- (1) 安心して楽しく活動できる学校
- (2) 生きる力を育む学校

3 目指す生徒像

- (1) 挨拶を大切にし、夢と希望をもち、目標を追いかけていく生徒
- (2) 主体的に考え行動できる生徒 (自主自律)

4 目指す教師像

- (1) 授業力・指導力・支援力の向上をあきらめない教師
- (2) 生徒の自尊感情・自己有用感を育める教師
- (3) 生徒・保護者・地域から信頼されるよう努力を惜しまない教師

5 実践目標

- (1) 確かな学力の形成
指導法の工夫・改善を通して、基礎・基本的な内容の定着と学ぶ意欲の向上を図っていく。
- (2) 自尊感情・自己有用感の高揚
豊かな体験(自他とのかかわり)を通して自主・自律の精神、及び社会性を養っていく。

6 令和2年度の指導重点

【教科・領域等の指導】

(1) 教科指導

- ①基礎基本の定着を図る指導方法の工夫と改善
- ②言語活動の充実を通して多様な能力育成を図る指導法の開発
・話し合い活動を取り入れた授業の実践
- ③ユニバーサルデザインを取り入れたわかる授業の実践
・7月、12月に生徒による授業評価の実践と授業改善の推進
- ④ICT機器を活用した指導方法の工夫と改善
- ⑤課題解決に向けての主体的・協働的に学ぶ学習の実践

(2) 道徳教育

- ①教科書を主たる教材として、発問を工夫した考えが深まる道徳授業の実践
・22の道徳内容、35話の教材研究と授業改善
- ②全教育活動を通じた人間としての生き方を深める実践

(3) 総合的な学習の時間

- ①生徒が考える課題設定、課題追及方法に基づき、主体性を育成する指導の工夫
- ②目標を明確にした組織的・計画的な指導実践

(4) 特別活動

- ①主体性を伸長する生徒会活動の発展
- ②自主自律を促す生徒による行事の運営
・教員主導でない、生徒主導で動ける体制づくり

【生活指導】

(1) 主体性を育成する「攻める」生活指導の確立

- ①全ての生徒が安心して生活できる環境を作るための組織的指導の実践
- ②いじめを許さない学校づくりのための早期発見・早期対応と未然防止への実践
- ③自治能力の育成を図る生徒会活動の充実
- ④自尊感情と自己有用感の高揚を図る生徒一人一人への組織的支援

- (2) 組織的指導に基づく基本的な生活習慣の確立
 - ①自ら挨拶のできる生徒、自ら時間の守れる生徒の育成
 - ②集団生活の基本的ルール（人権侵害・暴力等）における毅然たる指導
- (3) 教育相談体制
 - ①カウンセリングマインドに基づく生徒一人一人への適切な対応
 - ②SC・SSW、外部機関との積極的な連携
- (4) 保護者・地域との協働
 - ①奉仕活動・ボランティア活動等への積極的な参加
 - ②家庭・地域に向けた学校理解を促進する広報活動、交流活動の推進

【進路指導】

- (1) 将来の生き方を考える指導の工夫と改善
 - ①主体的に将来の生き方を考える指導の工夫と改善
 - ②一貫性のある組織的進路指導の確立
- (2) 進路選択能力の育成
 - ①3年間を見通した計画と実践
 - ②卒業後の円滑な進路選択に向けた情報整理と指導の充実
- (3) 主体的に生きる基盤となる学力向上
 - ①ベーシック教室、補習（定期テスト前・長期休業中）による学力向上への実践
 - ②漢字能力検定・英語検定・数学検定等の奨励と生徒支援

【健康・安全・食育指導】

- (1) 体育的活動における事故防止
 - ①保健体育授業・部活動における事故の予見（WBGT計測等）、不適切な指導の根絶
 - ②施設・備品の適正な管理点検による自己の未然防止
 - ③事故発生時の的確な判断、迅速・適切な対応
- (2) 学校内外での事故防止
 - ①交通事故防止に向けた安全教育の徹底
 - ②不審者被害防止に向けた予防指導の推進
- (3) 防災教育
 - ①多様な避難訓練の工夫と地域の連携を通して「命を守る力」の育成
 - ②校内防災体制の整備（災害発生時、避難所開設時）
- (4) 保健管理・保健指導
 - ①保健計画に基づく適正な指導の実践
 - ②健康教育を推進し、主体的に健康管理できる生徒の育成
 - ③感染症・アレルギー等に対する関係諸機関との円滑な連携
- (5) 食育
 - ①食への感謝とマナーの育成を図る給食指導
 - ②望ましい食習慣、食生活を向上させる指導の工夫・改善

【特別支援教育】

- (1) 生徒一人一人に対して、適切な指導及び必要な支援についての組織的な探究と実践
 - ・特別支援推進委員会の活性化
 - ・個別支援計画、個別指導計画の作成と実践と検証
- (2) 「様々な人が生き生きと活躍できる共生社会の形成」の基礎となる実践
 - ・通常学級と8組の交流活動の工夫
 - ・啓発授業の工夫
- (3) SC・SSWや外部機関との連携

【研修・研究】

授業力の向上

- ・教務部中心の研修会の実施
- ・管理職による授業観察（年2回：1学期、2学期）
- ・話し合い活動を取り入れた授業を1・2回の授業観察において少なくともどちらかで実施
- ・「UDの視点」「話し合い活動など生徒の主体的な活動」を大切に授業実践

【服務】

- (1) 教育公務員としての、全体の奉仕者としての立場の再認識
- (2) 体罰、交通事故、わいせつ行為、不適切な指導等信用失墜行為の禁止
- (3) 個人情報管理、会計管理の徹底と適正な事務処理